

infocom REPORT

2021年3月期 第2四半期
2020年4月1日 → 2020年9月30日



CEOメッセージ

電子コミックを中心に継続成長

代表取締役社長 CEO 竹原 教博



株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

春先から新型コロナウイルス感染症が拡大したため、社員の健康と安全を優先して在宅勤務中心に切り替えて業務を行ってまいりました。元々、本社オフィスが新国立競技場に近いため東京オリンピックを想定してインフラ整備を進めていたこともあり、比較的スムーズにリモートワークに切り替えることができました。営業・開発においてもオンラインを活用して柔軟に対応することにより、感染症の事業への影響を最小限に抑えています。

その結果、当社グループ全体の上期の経営成績は、売上高332億円(前年同四半期比20.0%増)、営業利益49億円(同27.4%増)となりました。

電子コミックは好調継続

今年度の電子書籍市場は外出自粛による需要増の影響もあり、前年比約18%増^(※)と予想されていますが、当社の電子コミックの上期実績はこれを大きく上回る39.8%増となりました。この大幅な増収は市況の良さのみならず、当社が以前から注力しているデータ分析・AI活用をベースとしたマーケティング施策(オリジナルコミックの拡充、独占先行配信、毎日無料連載等)が成果に繋がったものです。

また若年層読者の獲得を狙って5月にアプリ版のフルリニューアルを実施しました。

おかげさまで、会員数も順調に増加し1,300万人を突破しました。このように多くの読者に利用していただいております。下期の継続的成長に繋がると予想しております。

(※) インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2020」より

ヘルスケア事業の新たな取り組み

数年前より海外展開の準備を進めてきましたが、今回ようやくその一歩を踏み出すことができました。

一つは当社の医用画像情報システム(PACS)のインドネシアでの販売開始であり、もう一つはシンガポールで介護人材マッチング事業を展開するHomage社との資本業務提携です。これらを足掛かりとして東南アジアでのヘルスケアサービスの展開を進めていきます。

一方、国内の病院・介護事業者向け事業は感染症拡大の影響を受けておりますが、中でも主力の放射線部門向けシステムや就業管理サービスCWSは健闘しております。影響は下期も続くものの、長期的にはコロナ禍の経験によりオンライン医療を始めとした医療・介護のデジタル・トランスフォーメーションが加速すると見ています。

通期計画の上方修正

下期も引き続き電子コミック配信サービスが成長をけん引し、ITサービス・セグメントも企業のIT需要を取り込み堅調に推移する見通しです。そのため、通期業績予想を、売上高705億円(前回予想比+15億円)、営業利益105億円(同+4億円)に修正しました。

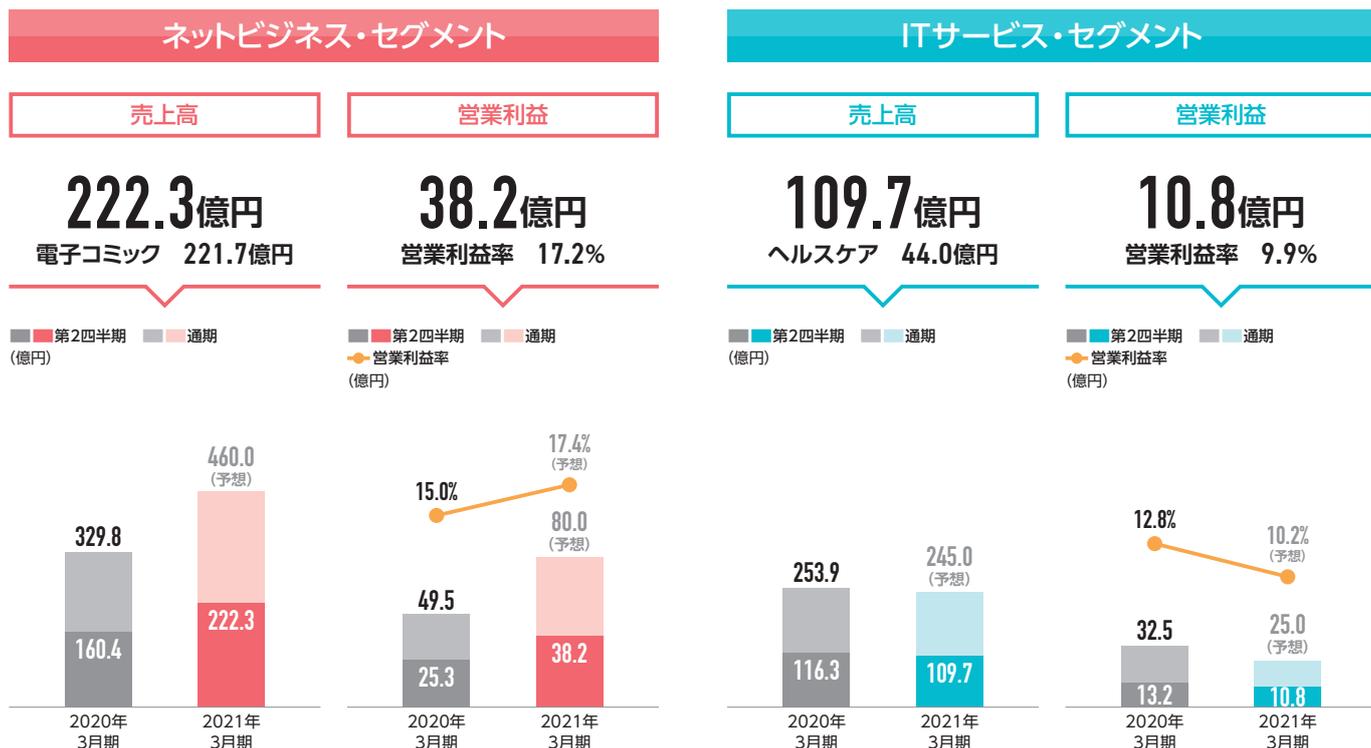
株主のみなさまにおかれましては今後とも変わらぬご支援をよろしく申し上げます。

決算ハイライト(連結)

- POINT 1** 上期業績は、電子コミックがけん引し、大幅な増収、増益を達成。また、同サービスが下期も好調を継続し、ITサービスも企業のIT需要を取り込み堅調な推移が見込まれるため、通期予想を上方修正。
- 2** 電子コミックは、当社の強みであるデータ分析・AI活用をベースとしたマーケティング施策が奏功。加えて、巣ごもり需要の増加により、大幅な増収、増益。
- 3** ヘルスケア事業は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、放射線情報システムや就業管理システムなどが健闘。また、新中期経営計画の成長戦略の1つに掲げるアジアヘルスケア・プロジェクトを始動。



セグメント情報



新中期経営計画(2020年度~2022年度)の概要
 スローガン「United Innovation “価値共創”」

- 基本方針
- ▶成長の追求
1. 電子コミックとヘルスケアを重点事業として継続成長
 2. サービス化の推進
 3. 共創の積極的推進 (M&A、海外展開)

詳細はこちらからご確認ください。
<https://www.infocom.co.jp/ja/ir/management/strategy.html>



2023年3月期(目標)

売上高	ROE	EBITDA
850~1,150億円	15.0%以上	130~160億円

電子コミック事業



めっちゃコミックオリジナル『青島くんはいじわる』が大ヒット!

電子コミック配信サービス「めっちゃコミック」では、出版社から提供を受けるコミックのほか、ユーザーの好みに合わせて制作した独自作品「めっちゃコミックオリジナル」が好評です。中でも連載中のオリジナル作品『青島くんはいじわる』(吉井ユウ)の売り上げが、単行本換算で累計約100万部の大ヒットとなっています。

オリジナルコミックの拡充は新中期経営計画でも戦略のひとつに掲げており、制作体制の強化に加え、今後はAIを使った制作支援、ヒット作のドラマ化や海外展開も進めてまいります。

ヘルスケア事業

「アジアヘルスケア・プロジェクト」が始動

新中期経営計画で新たな取り組みとして掲げている、東南アジアへのヘルスケア事業の展開について、具体的な取り組みを開始しました。

インドネシアにおいて、当社が国内向けに提供する医用画像情報システム「iRad-IA」を販売開始。また、シンガポールで介護人材のマッチングプラットフォームを提供する、スタートアップ企業「Homage社」とも資本業務提携を行いました。今後も益々拡大するアジア医療IT市場への参入を目指してまいります。

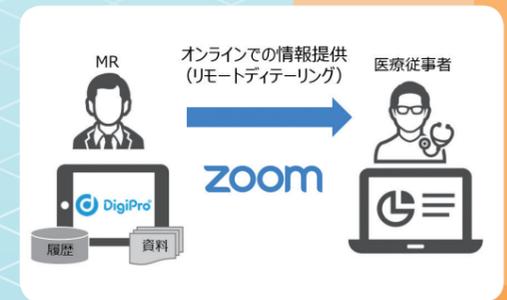


リモート技術を活用したサービスの提供を開始

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、医療分野でも“非対面”の流れが加速しており、当社のヘルスケア事業でも医療分野でオンライン化を支援するビジネス展開を開始しています。

製薬企業のMR(医薬情報担当者)が、医師などへ医薬品の情報提供をする際に使う資料を、MR活動のガイドラインに抵触しないよう管理できるクラウドサービス「DigiPro」は、従来対面での情報提供を想定していました。このほど、オンライン会議システム「Zoom」を連携させ、オンラインでも適切な情報提供を行うことが可能となりました。

また、病院向けでは、エア・ウォーター(株)が提供するオンラインICUに技術支援を行うとともに、自社でのオンライン医療システムの事業化も目指しています。



2020年3月期(実績)

売上高	583億円
ROE	16.2%
EBITDA	93.9億円

2021年3月期(予想)

売上高	705億円
ROE	17.1%
EBITDA	115億円

前中期経営計画「共創」

新中期経営計画「価値共創」

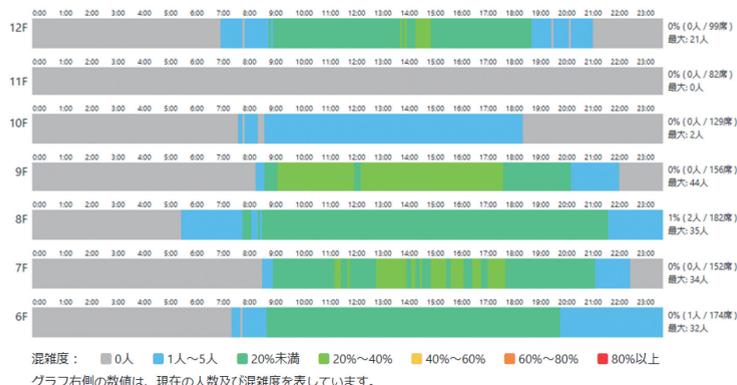
TOPIC 1

新型コロナウイルス感染症への当社グループの取り組み

テレワーク活用で出勤率を30%以下に

当社グループでは、今年度「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、社員の安全を確保しながら事業を運営するための対策を講じています。

テレワークを活用して部署ごとの出勤率を30%以内に抑制、また時差出勤の推奨などに取り組んでいます。加えて、オフィスの混雑状況をリアルタイムに把握できる仕組みや、社員の在宅／出勤の状況がひと目でわかる仕組みを開発・導入するなどの工夫も行っています。



リアルタイムにオフィスの混雑状況がわかる仕組み (PC画面)

社内イベントをバーチャル空間で開催

社員の成長支援施策の一環として、事業に貢献したプロジェクトを表彰する「インフォコムアワード」を毎年開催しています。

これまで、関係者を一堂に集めて表彰式を執り行っていました。今回は密集状態を避けるため、初の試みとしてバーチャル空間で実施しました。

表彰式には、社員は自分の顔写真が入ったキャラクター「アバター」を操作して集合。事業に貢献したプロジェクトとメンバーが紹介され、チャットで「おめでとう!」「すごいね」などと声を掛け合い、リアルな会場さながらに盛り上がりました。



TOPIC 2

2020年6月16日に第38回定時株主総会を開催しました。

今回の株主総会では株主さまの安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症予防対策として、当日のご来場を極力お控えいただき、書面やインターネットでの議決権行使をお願いしました。また、従来は株主総会当日に会場で投影し、開催後にホームページに掲載していた事業報告動画を株主総会前日からホームページに掲載するなど、感染症対策を行いつつ、事業の進捗をご理解いただくための取り組みを進めました。

加えて株主総会会場では、検温などの感染症対策、間隔を空けた座席配置、役員8名のオンライン出席など、密集状態を避けた運営に努めました。

株主のみなさまには、株主総会の安全で円滑な運営にご理解とご協力をいただきましたことに改めて御礼を申し上げます。



詳細はこちらからご確認ください。
<https://www.infocom.co.jp/ja/ir/stock/meeting.html>



漫画なら、

めちやコミック

5人に1人が
利用している*

65,000話以上が
無料配信中!



<https://sp.comics.mecha.cc/>

めちやコミック 検索



※2020年5月末時点
スマートフォン・フィーチャーフォンアプリの合計利用者数(重複するユーザーは除く)自社調べ
注)一部コンテンツは有料です。パケット通信料はお客様のご負担となります。一部ご利用いただけ
ない機種がございます。

©めちや犬

(2020年9月30日現在)

会社概要

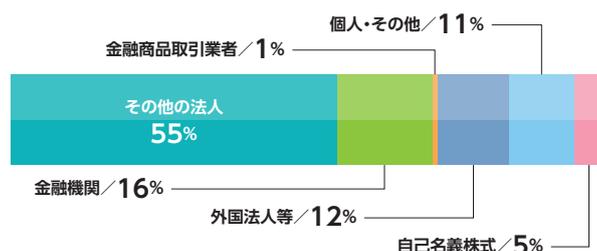
商号	インフォコム株式会社 (INFOCOM CORPORATION)
代表者	代表取締役社長 CEO 竹原 教博
設立	1983年2月
本社所在地	東京都渋谷区神宮前2-34-17
決算期	3月末日
資本金	15億90百万円
社員数	630名(単体) 1,203名(連結)
主要事業所	大阪、横浜、福岡
連結子会社	国内6社、海外3社

役員

代表取締役社長	竹原 教博
専務取締役	里見 俊弘
取締役	黒田 淳
取締役	間狩 泰三
取締役	社外 独立 津田 和彦
取締役	社外 独立 藤田 一彦
取締役	社外 独立 栗井 佐知子
常勤監査役	玉井 隆
常勤監査役	社外 仲田 和正
監査役	中石 昭夫
監査役	社外 独立 森川 紀代

※ 社外 会社法に定める社外取締役・社外監査役
独立 東京証券取引所の有価証券上場規程に定める独立役員

株式の所有者別状況



株式情報

上場市場(銘柄コード)	東京証券取引所 市場第一部(4348)
発行可能株式総数	230,400,000株
発行済株式総数	57,600,000株
株主数	6,746名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金:3月末日 中間配当金:9月末日
売買単位	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。公告掲載URL:<https://www.infocom.co.jp/>

大株主の状況

株主名	持株比率(%)
帝人株式会社	55.13
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6.63
インフォコム株式会社	4.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3.99
インフォコムグループ従業員持株会	2.28
QUINTET PRIVATE BANK (EUROPE) S. A. 107704	1.90
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	0.91
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	0.86
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	0.79
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	0.77

お問い合わせ インフォコム株式会社 広報・IR室
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL: 03-6866-3000(代) FAX: 03-6866-3900 E-mail: pr@infocom.co.jp

